

団体経由
申込み

インターネット・郵便 ※締切時間が異なります。
平成29年 **1.12** (木) → **2.9** (木)

個人
申込み

インターネット (ホームページから申込み)
平成29年 **1.12** (木) → **2.20** (月) 20時

郵便 (受験ガイド(願書付き)又は案内書・願書の入手が必要)
平成29年 **1.12** (木) → **2.9** (木)

消印
有効

平成29年 **4.16** (日)

合格発表

情報セキュリティマネジメント試験 平成29年 **5** 月中旬
基本情報技術者試験
応用情報技術者試験・高度試験 平成29年 **6** 月下旬
情報処理安全確保支援士試験
(通称:情報セキュリティスペシャリスト試験)

受験手数料・申込方法

受験手数料 **5,700**円 (情報処理技術者試験は消費税込み。ただし情報処理安全確保支援士試験は非課税。)

申込方法

団体経由
申込み

5名以上の個人申込みを
まとめた場合は、
団体経由申込みが便利です。
申込みは、次の3つの方法があります。

インターネット申込み
願書郵送申込み

個人
申込み

インターネット申込み
① 情報処理技術者試験センターホームページ (<http://www.jitec.ipa.go.jp/>) から受験申込みができます。
② 受験手数料の払込みは、3つの方法があります。
・クレジットカード決済 ・ペイジー (Pay-easy) による払い込み ・コンビニ利用による払い込み

願書郵送申込み

IPAや書店等から受験ガイド(願書付)又は案内書・願書入手し、郵便局窓口で受験手数料を払い込んだ後、願書を封筒に入れ、「簡易書留」で郵送します。

団体経由申込みには次のメリットがあります。(企業・学校等の約1,000団体が利用)
●企業の人事担当者様や学校の先生方が、まとめて申込みを行うことによって、申込みから成績情報、受験結果の確認まで一括管理できます。
●団体担当者様には、受験者の成績情報(時間区分別得点、分野別得点)等の受験結果が提供されます。
団体経由申込みは「インターネット申込み」がお勧めです。
●受験ガイド(願書付)、案内書・願書の取り寄せや、願書の取りまとめが不要です。
●受験結果がテキストデータで提供されるため、成績管理、分析など様々な用途にご活用いただけます。

団体担当者の皆様へ

基本情報技術者試験
午前免除制度のご紹介

●IPAに認定された講座を受講し、修了試験に合格することによって、基本情報技術者試験の午前試験が免除される制度です。
●修了試験の合格者(修了認定者)は、修了認定者となった日から1年間、基本情報技術者試験の午前試験が免除されます。
●高校72、専門学校176、大学26、企業等46の計300以上の団体が本制度を活用しております。(平成28年4月現在)
※午前免除制度の詳細は、ホームページをご覧ください。

試験時間・出題形式

時間区分	午前	午後
注意事項の 説明開始時刻	9:15	12:15
試験時間	9:30～11:00 (90分)	12:30～14:00 (90分)
形式	出題形式 出題数 解答数	出題形式 出題数 解答数
試験区分	多肢選択式 (四肢択一)	多肢選択式 3問 3問
情報セキュリティ マネジメント試験 SG	50問 50問	

時間区分	午前	午後
注意事項の 説明開始時刻	9:15	12:45
試験時間	9:30～12:00 (150分)	13:00～15:30 (150分)
形式	出題形式 出題数 解答数	出題形式 出題数 解答数
試験区分	多肢選択式 (四肢択一)	多肢選択式 13問 7問
基本情報 技術者試験 FE	80問 80問	
応用情報 技術者試験 AP	80問 80問	記述式 11問 5問

時間区分	午前Ⅰ	午前Ⅱ	午後Ⅰ	午後Ⅱ
注意事項の説明開始時刻	9:15	10:35	12:15	14:15
試験時間	9:30～10:20 (50分)	10:50～11:30 (40分)	12:30～14:00 (90分)	14:30～16:30 (120分)
試験区分	出題形式 出題数 解答数	出題形式 出題数 解答数	出題形式 出題数 解答数	出題形式 出題数 解答数
高度試験	プロジェクト マネージャ試験 PM	データベース スペシャリスト試験 DB	エンベデッドシステム スペシャリスト試験 ES	システム監査 技術者試験 AU
情報処理 安全確保支援士試験 SC	多肢選択式 (四肢択一) 共通問題	30問 30問	多肢選択式 (四肢択一) 25問 25問	多肢選択式 (四肢択一) 25問 25問

国家試験

平成29年度春期

情報処理技術者試験
情報処理安全確保支援士試験
(通称:情報セキュリティスペシャリスト試験)

インターネット
平成29年
1.12 (木) → **2.20** (月) 20時

郵便
平成29年
1.12 (木) → **2.9** (木)

消印
有効

団体経由申込み (インターネット・郵便)
平成29年
1.12 (木) → **2.9** (木)

社員のキャリアを
応援する。

試験実施日
平成29年

4.16 (日)

新試験はじまる!

国家試験

平成29年度春期
情報処理技術者試験
情報処理安全確保支援士試験
(通称:情報セキュリティスペシャリスト試験)

社員のスキル向上が、 会社を強くする

- 最大規模の国家試験（年間応募者数約45万人(※)、これまでの応募者総数は1,840万人(累計)に達しています）
- ベンダ系・ユーザ系両方のIT人材を視野に入れた試験体系
- IT人材の客観的な評価尺度・評価ツール
- 政府や地方自治体などのシステム調達要件にされるなどの高い信頼性
- ITや経営の幅広い領域から出題、現場の課題解決力も重視
- より上位の試験区分を目指すことで、自己のスキルアップが可能

(※)平成27年度実績。CBT方式によるiパス(ITパスポート試験)の応募者数を含む

新試験、開始！

SC

ITの安全・安心を支えるセキュリティの番人（通称:情報セキュリティスペシャリスト試験）

情報処理安全確保支援士試験

- 支援士試験の出題内容・範囲は、これまでの情報セキュリティスペシャリスト試験(SC)と変わりません。
- そのため、支援士試験合格者はこれまでのSC合格者と同様に、情報セキュリティに関する知識・技能を有するものとして、経済産業大臣から合格証書が交付されます。
- 次に、支援士試験合格者は、登録することによって、独占的に「情報処理安全確保支援士」の資格名称を使用することができます。

サイバーセキュリティに関する高度な知識・技能を保有し、最新知識や実践的な能力を有する者として国に登録する新たな国家資格「情報処理安全確保支援士」を取得するための試験です。



試験区分

情報処理技術者試験

ITを活用する者		情報処理技術者											
ITの安全な利活用を推進する者		情報セキュリティマネジメント試験 (SG)	高度な知識・技能 (高度試験)	ITストラテジスト試験	システムアーキテクト試験	プロジェクトマネージャ試験	ネットワークスペシャリスト試験	データベーススペシャリスト試験	エンベデッドシステムスペシャリスト試験	ITサービスマネージャ試験	システム監査技術者試験		
ITの安全な利活用を推進するための基本的知識・技能				(ST)	(SA)	(PM)	(NW)	(DB)	(ES)	(SM)	(AU)		
				応用情報技術者試験 (AP)									
				基本情報技術者試験 (FE)									